

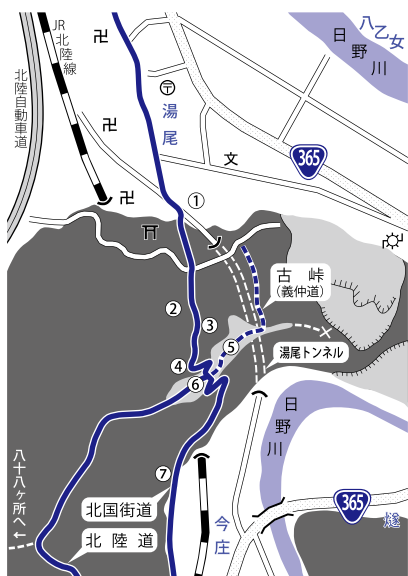
# まちの遺産

## 湯尾峠

北陸道の合戦と孫嫡子信仰

湯尾峠 湯尾峠 湯尾峠

北陸道から現代の北陸自動車道にいたるまで、北陸の主要幹線が集中している交通の要所です。歴史的合戦の舞台となった城跡や、孫嫡子信仰の発信元としてにぎわった峠の茶屋跡など数多くの史跡が残っており、文化庁「歴史の道・百選」にも選ばれています。



① 上野ヶ原古戦場跡 ② 血頭池 ③ 馬の水呑場 ④ ご膳井跡 ⑤ 湯尾城跡 ⑥ 峠の茶屋跡・孫嫡子神社 ⑦ 一里塚

湯尾峠は、ハヶ所山から東に細長く突き出た尾根の標高約二〇〇mに位置しています。山麓は谷幅が狭く、日野川がS字状に蛇行して流れているため、今庄から湯尾へは必ずこの峠を通りました。天正六年（一五七八）柴田勝家が北国街道を整備した時、石垣を組み道幅を広げる改修が加えられて現在の峠道になったといわれていますが、現ルートの東側には源平合戦の時代、木曾義仲が京へ攻め上がる際に切り開いたといわれる古い峠道（義仲道）も残っており、南北朝時代の合戦、一向一揆の戦いなど度々戦場となった場所でもあります。

### 湯尾峠の変遷

- 1183年 木曾義仲軍、日野川をせき止め燧ヶ城で平家軍と対峙（義仲道）
- 1336年 杉山城主・瓜生保、湯尾で足利軍に勝利（上野ヶ原古戦場跡）
- 1578年 北ノ庄城主・柴田勝家が現在の峠道へと大改修を行う（北国街道）
- 1878年 明治天皇北陸御巡幸、湯尾峠を通過（ご膳井跡）
- 1896年 鉄道開通、峠の通行が減少し茶屋下山（湯尾トンネル）



▲江戸時代に描かれた峠の茶屋（「湯尾峠」「二十四輩巡拝図絵」）

峠の標高差は一〇〇m程で、やや急な坂道ですが、道幅が広く比較的登りやすい道です。ゆっくと十五分ばかりで頂上付近まで行くと、目の前に石垣が現れ道がつき当たり、直角に折れながら進むと頂上の茶屋跡に着きます。石垣は湯尾側で一段、今庄側で二段に組まれており、茶屋の構えというより城や砦としての面影が感じられます。頂上の高台には疱瘡の神を祀る孫嫡子神社があり、四軒あった茶屋では厄よけのお守り札が配付されています。江戸時代の文人、松尾芭蕉、井原西鶴、近松門左衛門をはじめ、数々の紀行文、文芸作品にも登場していることから、孫嫡子信仰と峠の茶屋は全国的に知れ渡り、大いに繁盛していたことがわかります。

## 夏本番

### ウォーターランドは楽しさ満載



## ウォーターランド通信

ウォーターランド南条 ☎ 47・3711

☆7月～8月のプール利用について

休館日なしで営業します。

営業時間（お盆も同様です。）

月曜日 午後1時～午後9時

火～金曜日 午前10時～午後9時

土・日曜日 午前10時～午後6時

※夏休み期間（7月21日～8月31日）は、町内の中学生以下の子どもは無料で利用できます。

※午前中は、ウォーターランドGO GOバス（町内路線バス）が利用できます。

プール利用上の注意

- ・土、日、祝日は、1時間ごとに10分間の「プール休憩」を行います。
- ・ウォータースライダーは、身長制限を設けています（120cm以上）。
- ・ウォータースライダーは、子どもを抱えて滑らない、間隔をあける。
- ・未就学児以下の子どもだけでプールに入らない（保護者同伴）。
- ・3歳未満の子どもは、保護者同伴でもプールに入場できません。

☆ウォーターランド納涼祭

日時 8月9日（日）

午後4時～午後9時

※詳しい内容は、各戸配布のチラシをご覧ください。

